



2020年7月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 W e l b y
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 比 木 武
 (コード番号：4438 東証マザーズ)
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 神 谷 学
 (TEL. 03-6206-2937)

2020年12月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ

当社、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2020年2月12日に公表いたしました2020年12月期第2四半期(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年12月期第2四半期(累計)業績予想の修正
 (2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業損失	経常損失	四半期純損失	1株当たり 当期純損失
前回発表予想(A)	百万円 428	百万円 △114	百万円 △114	百万円 △80	円 銭 △10.28
今回修正予想(B)	307	△199	△198	△138	△17.73
増減額(B-A)	△120	△84	△84	△58	
増減率(%)	△28.2	—	—	—	
(ご参考)前年同期実績 (2019年12月期第2四半期)	204	△101	△113	△81	△10.67

2. 差異が生じた理由

売上高について、疾患ソリューションサービスでは製薬会社と開発したPHR(※1)サービスにおいて、前期からの納品の期ずれ案件の大半を売上計上したほか、オンコロジー領域プラットフォーム(※2、PF)の拡充や採用した営業メンバーの早期戦力化により、製薬会社へのパイプラインを見越した提案を行い、PFを利用したマーケティング支援、新規アプリの開発等の新規受注活動を推進しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う営業活動の停滞、顧客側の意思決定の遅滞などにより、営業上見込んでいた案件の見直し、クロージングの遅滞などの影響を受けました。また、臨床研究について、医療機関への受診自粛などの影響により臨床研究の取り組み自体が停滞したことにより受注活動への影響がありました。

その結果、疾患ソリューションサービスの当第2四半期累計期間における売上高の見通しは213百万円となり、前年同期実績を48百万円上回ったものの、前回予想を143百万円下回りました。

Welby マイカルテサービスについては、一部案件で疾患ソリューションサービスと同様に営業活動やクロージングの遅延などの影響がみられた一方、新型コロナウイルス感染症をきっかけに在宅勤務者をはじめとした従業員の健康状態の把握や、医療機関におけるリスクマネジメントツールとしてのPHRの価値が認識され、医療機関における活用のためにWelby マイカルテのOEM提供の大型受注を得るなどのポジティブな影響も見られました。

その結果、Welby マイカルテサービスの当第2四半期累計期間における売上高の見通しは93百万円となり、前年同期実績を54百万円上回り、前回予想を23百万円上回りました。

以上の結果、売上高は上記のとおり、前回予想を下回る見通しとなりました。

売上原価については、疾患ソリューションサービスにかかる開発原価が減少する一方、上記の新型コロナウイルス感染症に対応した健康状態記録、モニタリング機能をはじめとするWelby マイカルテの各種機能強化について当初予想を上回る開発工数が生じ、結果として前回予想107百万円より21百万円上回り、128百万円になりました。

販管費については、新型コロナウイルス感染症の蔓延にともなう営業活動の減少による交通費及び交際費等の減少、採用進捗の遅滞に伴う人件費及び採用関連費の減少、PHR普及の場として想定していた医学関係の学会の中止や延期などに伴う広告宣伝活動費の減少などの影響があり、結果として当第2四半期累計期間における見通しは前回予想435百万円を57百万円下回り、378百万円となりました。

以上の結果、営業利益、経常利益及び当期純利益は上記のとおり、前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、通期の業績予想については、一部遅延していた営業活動が緊急事態宣言の解除に伴い徐々に回復に向かうと想定されること、当社の主要な顧客である製薬会社や医療機関などの医療業界におけるプレイヤーにとって当社商品サービスの需要が新型コロナウイルス感染症によって大きく減少するなどの強い影響を受けないと考えられることなどを踏まえて、当初計画（2020年2月12日公表分）を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

※1 「PHR」とは、個人によって電子的に管理される自らの健康・医療情報のことを指します。

※2 「プラットフォーム」とは、当社が構築・運営する各疾患別のアプリを経由して、患者から提供された症状その他の医療情報等の記録、医療情報のデータベースへの保存・管理、Webサービスを利用した医療情報の閲覧・共有などを可能にする、当社が運営する一連サービスのことを指します。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上